

建設工事の発注図書及び積算方法について（お知らせ）

1 設計図書と見積参考図書への分離について

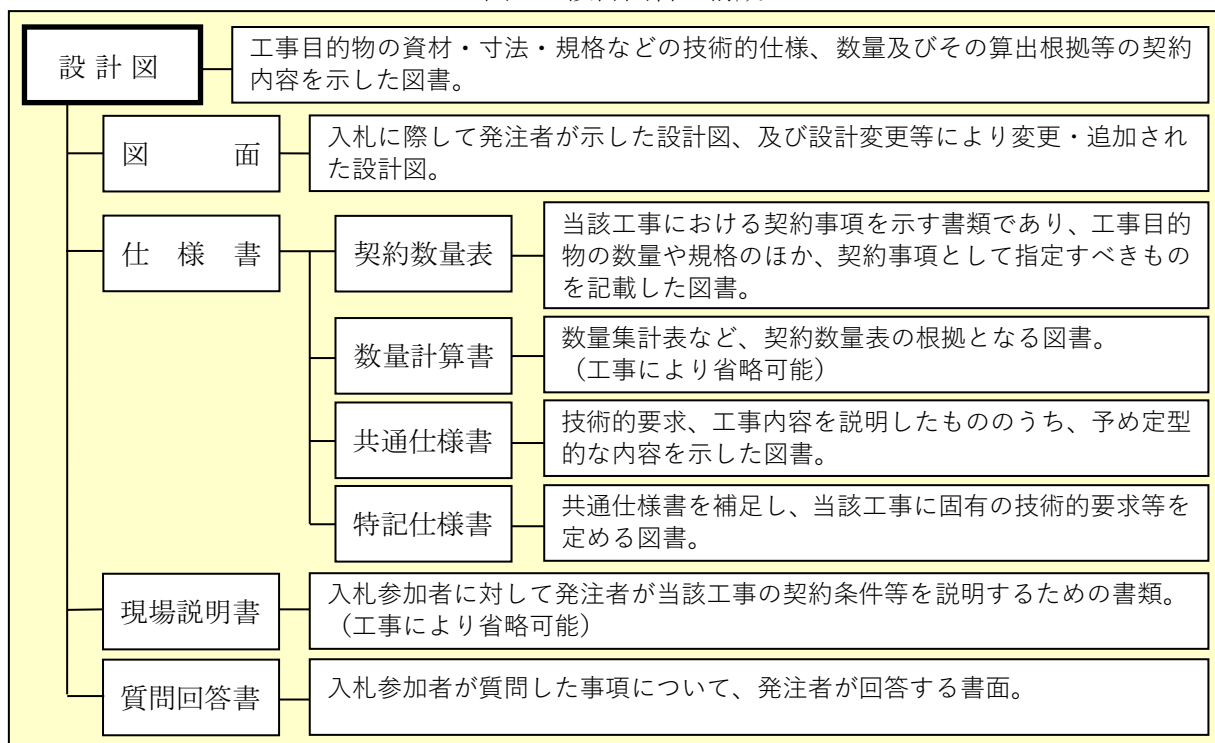
契約内容のより一層の明確化を図るため、現行の「金抜設計書」を図面・仕様書等からなる「設計図書」と内訳書等からなる「見積参考図書」に分離します。

なお、建築工事及び設備工事は対象外とします。

(1) 設計図書（契約図書となるもの）

設計図書とは、工事目的物の資材・寸法・規格などの技術的仕様、数量及びその算出根拠等の契約内容を示した図書です。構成は下図のとおりです。

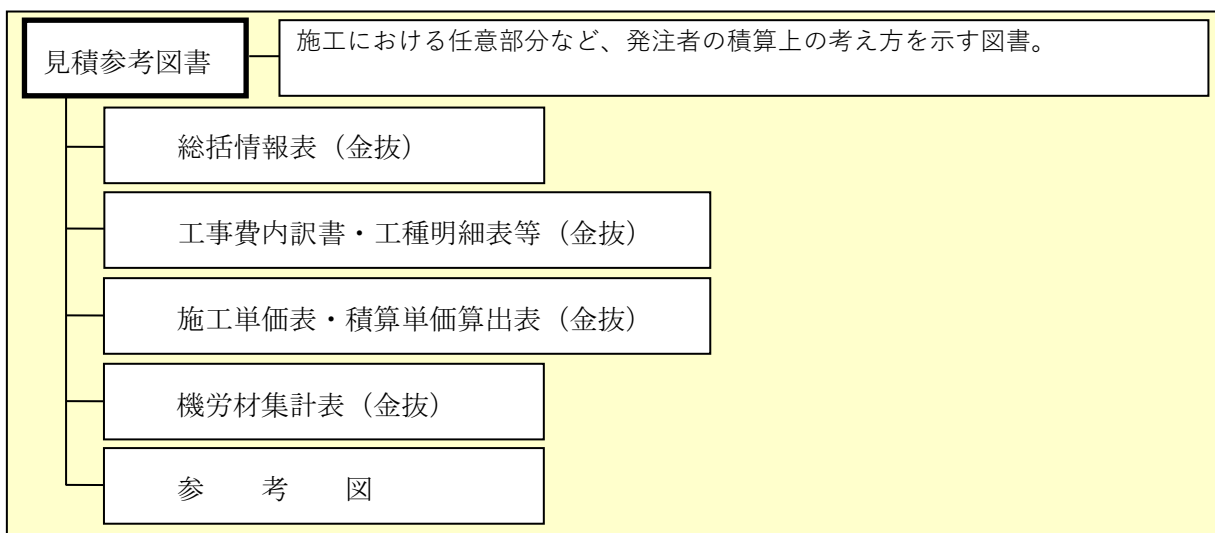
図1 設計図書の構成



(2) 見積参考図書（契約図書とならないもの）

見積参考図書とは、設計図書のほかに発注者の標準的な考え方や施工における任意部分などを示す図書です。あくまでも入札参加者等の適正・迅速な工事費の見積りに供するための資料であり、請負契約上の拘束力を生じるものではありません。構成は下図のとおりです。

図2 見積り参考図書の構成



2 工事工種が統一的に体系化された積算手法への移行について

建設工事における設計積算業務の効率化と契約事項の明確化を図るため、積算手法を工事工種が統一的に体系化された手法に移行します。（新土木工事積算大系などで工事工種体系が統一されていない工事等は除きます。）

なお、新土木工事積算大系の運用にあたっては、兵庫県県土整備部に準じています。

3 工事資材の見積り単価の査定について

土木工事及び農業土木工事で使用する資材単価のうち、兵庫県の積算単価表や物価資料等（注1）に掲載されていないものは、見積りを徴収し、類似品単価等を参考に実勢を考慮して査定した単価を採用します。

なお、兵庫県の積算単価表や物価資料等に類似品単価等が掲載されていない場合は査定を行いません。

注1）物価資料等とは、建設物価（建設物価調査会）、積算資料（経済調査会）をいい、建設物価調査会のWeb建設物価、経済調査会の積算資料電子版を含む。